THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
第19話
原作：日本ファルコム（『英雄伝説 閃の軌跡』）
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々
しかし驚いたな…
父さんが実習課題を出してきた時には何事かと思ったが
まさか学院の常任理事だったとはな…
ユーシスさんのお兄さんにアリサさんのお母さん…
これで3名いるという理事は全員だなしかし…
偶然というには苦しすぎる気がするが…
やはりⅦ組設立に何らかの関係があるのかもしれないな
それにしても帝都の知事閣下というからもっと厳格そうな人をイメージしてたんだけど…
悪いがこれから夏至祭の準備で…失礼するよ
えっもう!?
結構お茶目な感じ？
…すまない昔から父さんはあんな調子で…
でもすごく有能だって噂だよ？
平民出身で人当たりもいいけど積極的にリーダーシップを取るって評判だしね
ほぅ…
えーとA班は《ヴァンクール大通り》から東側のエリア…
パラ…
B班は西側か
3日間の長丁場…お互い頑張ろう
ええそれじゃあね！
東回りの導力トラム発車します！
お乗りのお客様はお急ぎください
ゴオォ

帝都は久しぶりに訪れたけど…
この大通りの規模にはつくづく驚かされるよな
正直人多すぎ
帝都市民にとったら当たり前の光景なんだが…
導力車もこの導力トラムも地方の人間は新鮮らしいな
そういえば宿泊所がある《アルト通り》っていうのはエリオットの実家もあるんだろう?
せっかくだし顔を出したほうがいいんじゃないか?
え でも…
エリオットの家ちょっと見てみたい
そ そう?じゃあお言葉に甘えて…姉さん今いるかなぁ…?
アルト通り
クレイグ家
エリオット〜〜!!
まぁまぁ本当にエリオットだわ!まさかこんなに早く会える日がくるなんて…!
ぐりぐり
ぐりぐり
ぐりぐり
ぐりぐり
ああっ女神様!心から感謝します…!
……
ちょ ちょっと姉さん!皆が見てるってば〜!
はは…随分と姉弟仲がいいみたいだ
た…確かに羨ましいくらいだな…
ええっ!?
ウチに泊まっていかないの!?
う うん…一応学院の実習だし…
ベッドが足りないでしょ。
えー
久しぶりに帰ったのに…
ね 姉さんってば……!
きっとエリオットもお姉ちゃん離れの年頃なのね
うる
複雑だけどお姉ちゃんはいつも見守ってるから…!
どちらかというと姉君のほうがべったりのようなのだが…

フィオナさん
俺たち滞在中は
この住所に
泊まってますから…
スッ
たぶん
家を出て通りに
沿って歩いた所
だと思うんだけど
あら？
この住所は…
もしかして
《遊撃士協会(ブレイサーギルド)》が
あった所じゃ
ないかしら…？
ギィ
ザッ
まさか
元ギルドの
建物だった
とはな…
ゴッ
その割に新しい
建物だな
元々 帝都には
ギルドの支部が
ふたつあってな
一年以上前に
撤退したが…
おそらく
B班の宿泊先は
もうひとつの
支部だろう
2年ほど前に
ここで大きな
火事があってね
その後に
建て直されたけど
結局ギルドは
畳まれちゃったんだ
あの火事に
ついては
テロだって噂も
あったけどね
ボソ
テロ…
物騒だな
ああ
あくまで
噂は噂だが
アレか…
……
…よし
《実習課題》の
確認を
始めるか
帝都知事が
別れ際に
知らせてきた
追加実習だな
今朝 宝飾店で
起きたという
盗難事件と
店長に届けられた
封書…
地下道の
手配魔獣に…
夏至祭の
取材の手伝い？
いろいろ
あるね
しかし
問題は——
サン・コリーズの店長殿へ
《紅蓮の小冠》——
確かに頂戴した
ただし 次の条件を満たせば
無事にお返しすることを約束しよう
——これは取引だ

1. 事件を鉄道憲兵隊には報せぬこと
1. 同封したもう一つのカードを トールズ士官学院 特科クラス Ⅶ組Ａ班に渡すこと
1. Ⅶ組Ａ班のメンバーがカードに書かれた我が試練に打ち克つこと
噂はあったがヤツが本当に現れるなんてな
《怪盗B》…どこかで聞いたことがあるような…
帝都では結構名の知れた盗賊なんだ
『美の解放活動』…数年前 自ら盗賊行為にそのような名前をつけて世間を騒がせたことがあったな
その手口は大胆かつ華麗で一部に熱狂的なファンすら存在するそうだ
そして同封されていたカードには…
トールズ士官学院
特科クラス・Ⅶ組Ａ班へ
宝に至らんとするならば 我が挑戦に応えよ
鍵は全て緋色の都にあり 始まりの鍵は……
『獅子の心を持つ覇者 その足元を見よ』
ペラ
これは…謎かけというやつか？
緋色の都…もちろんこの帝都のことだよね
この言葉をヒントに街で宝探しをしろってことかな
うん おそらくそうなのだろう
しかし何故わざわざ俺たちを指名してきたのだろう…？
うーん なんでだろうね…
…ふむ 考えていても仕方なかろう
そうだね… このヒントには心当たりがあるし早速行ってみようか
ここが《ドライケルス広場》…
皇城と帝国政府が入るバルフレイム宮を望む場所だ
ちなみに中央にある石像は あの《獅子心皇帝》――ドライケルス帝のものなんだ
『獅子の小衣を持つ覇者 その足元』 そうかこの像が…
あっ これ…
《怪盗B》のカード…！

第二の鍵は
『光透ける箱庭の中
北東の座に』
…
まさかと思うが…
今後もこういった第三・四の鍵と出てきてそれを辿れとか言うんじゃ…
フフ…諸君また会ったね
あ…!
誰だっけ…ブルブル…?
ブルブラン男爵ですね
ああ…!?
バリアハートで会ったあの胡散臭い…
モガ
モゴ
フフまだ覚えていてくれて何よりだ
今回も…〃美〃との出会いを探しているんですか?
まあそのようなものだ
バサッ
ヒソ…
だがバリアハートに続きこの緋の帝都でも君たちに会えるとは…
これを運命と言わずして何と言うべきだろうか?
何というか…変わった人だね…
今日は私も少々忙しいのでこの辺で失礼させてもらおう
それでは諸君らの健闘を祈らせてもらう
ふあ…
スタスタ
……
…ふむあの男性は一体我らに何を言いたかったのだ
さあ…何だろうな
スタスタ…
現れた時気配をまったく感じなかった
ブルブラン男爵か……
またカードか…一体何箇所廻ればいいんだ?
あ!これは…

ホテル《ノイエ＝ヴィント》
最後の鍵…
最後の鍵
『歌姫を迎える絢爛な客亭
深紅の宝はその門で眠る
黒き匣に包まれて』
はぁ…こちらに黒い箱のようなものですか?
とりあえずホテルに来てはみたけど…
歌姫というのが引っかかるな
カッ
カッ
あら…?
クロチルダ様そろそろお時間ですかな?
ええ
それより支配人…そちらの子たちは?
あっ…あああっ!?
ヴィータ・クロチルダ……!?
ヴィ…
ヴィ…
クス…
す すごい本物だ…!!
ま まさか…会える日が来るとは…!
えっとその人は…?
君たち!何をぼーっとしている!あの有名なオペラ歌手《蒼の歌姫》クロチルダだぞ!?
ディーヴァ
ヴィータ・クロチルダ
オペラ歌手をやっているわ よかったらご贔屓にね
――って知らないの!?
? ? ?

有名って言ってもオペラの世界でだけだものも知らなくたって無理ないわよね
ど どうも…
綺麗な人かも…
どこかの学生さん？
もしかして私のサイン目当てでわざわざ来てくれたのかしら？
はいっ それはもうっ!!
いやいや違うだろ!?
それ以外に用事などあり得るわけがありません!!
コホン
え えっと…俺たちはトリスタにあるトールズ士官学院の者です
今日はその実習でこちらに来ていまして
クロチルダ様
いけない 次のリハーサルが押しているんだったわ それじゃ実習頑張ってね
へえ… 今時の学校では面白いことをやっているみたいね
スッ
はあああ〜…っ 雑誌で見るより何倍も綺麗だったねえ…！
うむ… さすがに本物は違うな…！
………
——っあああ!? 結局サインをもらい損ねた！
残念だったね それは
お客様
あ… 支配人さん
先ほどおっしゃっていた箱というのはこちらでは？
ロビーに置かれていたそうなのですが
あ…！
《紅蓮の小冠》… まるで燃えるような輝きだな
これ 1億ミラって言ってたね…
ああ… 宝飾店に早く届けよう
支配人さん ありがとうございました
いえいえ 探し物が見つかって何よりです

……
どうかした リィン？
ど どうして そんなに私を 見るんですか？
ええ…茶番は この辺りで おしまいに しようと 思いまして……
ブルブラン男爵…いや 怪盗B！
なっ 何…!?
フフ…
あっ!?
ま 待て！
ど どこに 行った…？

フッ… これだから…
これだから 青い果実は たまらない
！
さっきの 男爵…!?
か 怪盗Bの 仮面じゃ ないか…！
改めて――
《怪盗B》こと 『怪盗ブルブラン』 という
ブルブラン 男爵は あくまで 仮初の姿に すぎない
ちなみに…… いつから 見破っていた
見破るも何も…わざわざ ドライケルス広場で 姿を現したくらいだ
あなた自身 本気で正体を隠そうと していなかっただろう

この辺りでもう一度様子を見に来るんじゃないかと思ってね
フフ なるほど
でも一体どうしてこんなことを…
知りたいかね？
いや―― これ以上ここであなたと話すつもりはない
泥棒は犯罪
ああ 我らから逃げられると思わぬことだ
フッ… 威勢の良いことだ
き 消えた!?
此度は存分に愉しませてもらった 諸君らの活躍 これからも期待している
どうか次なる邂逅を楽しみにしてくれたまえ!
あ…あんなところに!

だ…っ
だからなんっっだ あれは…!?
マキアス うるさい
すっかり振り回されたな…
ほんとなんで僕たちの前に現れたんだろうね
ふむ…今は早く宝飾店に届けた方がいいだろう
そうだな それを終えたら… 次は地下道の魔獣退治か

はぁ…
一日目からわりとクタクタだったな…
そろそろ姉さんが夕飯の準備をして待っていてくれるはずだよ
ん… 楽しみ
サァ
学生の演奏のようだな
ああ 同い年くらいみたいだが
ずいぶん上手いな…
ごめん! みんなちょっと待ってて!
ダッ
あっ… エリオット!?
はっ
えっ…?
エリオット!?
わぁっ
久しぶり…!
エリオット君じゃない!
みんな…!
昔の吹奏楽部の友人だったのか
うん みんな音楽院で頑張ってるみたい
カチャ
カチャ
夏至祭の練習してたんだって
……何となくみんなには気づかれちゃったと思うけど
僕 士官学院を受ける前までは音楽院を志望していたんだよね
小さい頃から姉さんと一緒に母さんのピアノを聴きながら育ってきた
父さんは豪快な人で音楽には疎かったけど母さんにはベタ惚れだったみたいで…
いつもこの家は暖かい音色と笑顔に満ち溢れてたんだ

でも その母さんが 7年前に病気で 亡くなって……
姉さんと僕は 当然のように 母さんと同じ道を 歩いていった
そして姉さんは 音楽院に入って ピアニストとしての 道を歩き始めて…
僕も当然のように それに続こうとした
──でも 父さんは それを許して くれなかった
エリオットの お父さんって何を やっている人?
え えっと その……
父さんは… 帝国軍に 勤めているんだ
!
あっ…! も もしかして
帝国軍…! そうだったのか
オーラフ・クレイグか!?
あ… し 知ってた?

帝国軍きっての 猛将と知られる オーラフ・クレイグ 中将…
人呼んで 《紅毛のクレイグ》
彼の率いる第四機甲師団は 帝国正規軍の中でも最強の 打撃力を誇るという
……まあ 僕と父さんじゃ さすがに結び つかないよね
そういえば 第四機甲師団には ナイトハルト教官も 所属していたな
それにしても エリオットの 父親だったとは…
あんまり 知られたくは なかったん だけど…
ふむ… 反対されたと いうのは…
趣味程度 ならともかく 帝国男子が音楽で 生計を立てるなど 認められん!
父さんは一方的に 帝国にある軍学校や 士官学校をひと通り 勧めてきて…
結局僕は 音楽院への進学を 諦めるしかなかった
エリオットは ……
後悔してるの? 士官学院に 入ったことを
カチャ

え　どうして？
後悔するわけないじゃない
え……
毎日　忙しいけど充実してるし放課後には吹奏楽部で演奏できる
《特別実習》なんていう変わったカリキュラムもあるから　色々視野も広げられそうだしね
漠然と音楽院に進学するよりも今は良かったと思ってるくらいさ
卒業後　音楽の道を目指すにしても別の道を目指すにしても…
今度こそ　僕は僕自身の意志で進むべき道を決められると思うから…

ふう…そこまで考えていたとはな
…強いなそなたは
か　買いかぶりすぎだよ！
音楽院で頑張ってる友達を見てうらやましくは感じちゃってるし
……でも
それでも士官学院に入ったことを後悔することだけは絶対にあり得ないと思うんだ
何よりも君たちと――
にこ…
Ⅶ組のみんなと会えたからね

っっ
い いくらなんでも それは恥ずかしすぎだろう!?
エリオット… ひょっとして大物?
え え? そんなに恥ずかしいかな!?
エリオット 泊まっていくって言ったら お姉さん随分喜んでたな…
ああ せっかくだ 実家に泊まった方がいいだろう
さて 明日も早いし レポートを書いたら 早めに休んで…
ラウラ フィー?
……
しん…
ピタ
そういえば このふたり…
今日の手配魔獣でも うまく連携が取れていなかったんだよな……
この実習中に何とかしたいところだが…

なんだ君たち ひょっとして疲れたのか?
…そうじゃないけど
ああ いや…
……
エリオットの話を聞いて ようやく己の心の見極めが付いた
——フィー
私と勝負してもらおう…!
な… 何い!!?
不穏な空気が漂うラウラとフィーの行方は——!?

マーテル公園 夜
公園か
この辺りなら人気も少ないし…
ザザァ
ん いい感じ
THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
原作：日本ファルコム（『英雄伝説 閃の軌跡』）
漫画：さがら梨々
第20話
ああ
夜とはいえ帝都の一角で切った張ったをするなんて…
ハァ…どうしてこんなことに…
マキアスうるさい
――フィー 単刀直入に言おう
この勝負私が勝ったらそなたの〝過去〟を教えてほしい

その体格でその錬度…私の〝武〟の常識からは余りにもかけ離れすぎている
そして《猟兵》という存在…
騎士を〝正道〟とするならば猟兵は言わば〝邪道〟…
今まで己の価値観に反しているゆえ心を合わせられないのだと思っていた
先ほどのエリオットの話を聞いて私は自分の心に問いかけてみた…
そうするとひとつ気付いたことがあった
数ヶ月共に過ごして私がそなたを信頼できる人物だととっくの昔に知っていたことを
〝心〟ではそなたを認めているのに…〝頭〟では合わないと思い込んでいた
その矛盾こそARCUSで心を合わせられなかった原因だろう
あ……
な…なるほど…

〝壁〟があると思い込んでいたのはわたしも同じ…
ラウラはいつも真っ直ぐだから
わたしを受けいれられないって心のどこかでちょっと諦めていた
でもどうして…?
わたしの過去が知りたいのはなぜ…?
フフ…決まっているだろう
私がそなたを〝好き〟だからだ
な なにを…
どうも私は見込んだ相手や気に入ってしまった相手のことは理解できないと気が済まないらしい
そなたの過去――そなたが〝そう在る〟経緯の一端を知りたい

――いいよ教えてもでも報酬は自分の手で掴み取るのが猟兵の流儀…
よかろうだが〝報酬〟のつもりはない
勝利の勲(いさおし)とさせてもらおう!
いやいやいやいや!
君たちもう十分気が合ってるだろう!?

フフ…
やるな…
ならばこちらも
父に教わった
奥義をもって
応えさせてもらおう
わたしも
団長に教わった
とっておきの
戦技を見せる…
チャキッ…
そこまでだッ!
バタッ
はぁっ…
はぁっ…
…はぁっ
はぁっ…
なぁ リィン
どっちの
勝ちなんだ?
こ これは…
引き分け…
わたしの
負け
夜間戦闘は
猟兵の十八番…
フラッシュまで
使ったのに決着を
付けられなかった
昼間だったら
負けてた…
…わかった
勝利を
受け入れよう
ん……

――わたしが前にいたのは《西風の旅団》という所だった…
戦争孤児だったわたしを拾って親同然に育ててくれたのは団長である《猟兵王》…
団員は変わった人ばかりだったけどみんな　わたしを可愛がってくれた
そのうち掃除とか食事当番とかを手伝うようになって…
空いた時間に戦場で生き延びる色々な技術を教わるようになっていた
10歳で実戦を経験して…
《西風の旅団》の一員となったわたしは《西風の妖精》なんて呼ばれるようになっていた
大陸のあちこちを回って…
辛いことや危ないこともあったけど生き延びてみんなと一緒にいた
去年――団長がいなくなるまでは
《紅い星座》…
大陸西部で《西風の旅団》と双璧と言われる猟兵団
団長の《闘神》という人とウチの団長は宿敵同士だった
そして《猟兵王》と《闘神》はとうとう一騎打ちをする事になって
三日三晩死闘を繰り広げて……最後に相討ちになった
団員のみんなはわたしを残してどこかにいなくなってしまった…
そんな時途方にくれてたわたしの前にサラが現れた
二大猟兵団の動向を追っていてちょうど行き合わせたみたいで
事情を話したら強引にあの学院に連れて行かれて学院長に紹介されて……
ここから先はみんなも知ってる通り　かな
……
――正直予想以上だった
私の知っていた世界とは　かくも狭きものだったのだな
ようやく私は〝そなた〟を知った
全てではないがこれからもっと深く知るきっかけは掴めたと思う
スッ
どうだろう――今から試してみないか？
あ……

…試す？
？
かなり消耗しているので物足りないかもしれないが…
!?
付け焼刃かもしれないけど何とか届かせてもらう
い…
いい加減にしたまえ
特別実習2日目——
ヘイムダル港 地下道
ニッ
——うん
ヘイムダル港の手配魔獣はこれで完了だね

それにしても昨日は僕がいないところでそんな事をやってたんだ
なんだか仲間外れな気分だよ…
その後巡回の憲兵に2時間もこってり絞られなかっただけいいだろう…
ふたりには
やられるわ
しかられるわ
ちょっと待って
このあたりに空気の流れを感じる
ゴゴゴ
ガチャー
これは…隠し扉か
ここは…？
調べてみよう
《オスト地区》だね
マキアスの実家があるところだよ
まさか港からここまで地下道が繋がってたなんて…

帝都の地下道はかなりの広さで張り巡らされているみたいだな
ふむ 正午の鐘か
…そろそろ昼時だし近くの店で簡単なランチでもテイクアウトしないか？
それで——
よかったらウチでコーヒーくらいはご馳走しよう
レーグニッツ家
これが帝都名物のフィッシュ&チップス…聞いていたよりも美味に感じるな
このコーヒーもかなり本格的で香りもいいな
ああ…コーヒーは父さんの忙しい毎日でのちょっとした贅沢のつもりみたいでね

ふむ…好感の持てる方だな
この家も帝都知事のような要職にある人物の自宅とは思えぬというか…
居心地がいいというか落ち着ける雰囲気だよね
わりと普通…
あ……写真発見
うわああ…マキアスが可愛いっ！
ふむ 昔は何とも言えぬ愛らしさを持っていたのだな
これがこんなにガンコで口うるさいのになるとは……
ええい人の昔の写真で盛り上がるんじゃないっ！
隣にいるのはお姉さんか…？
父方の従姉でね近くに住んでいたからよく遊びに来てくれたんだが…
6年前に亡くなったよ
え……
……本当は誰にもするつもりはなかったんだ
だがそろそろ僕も少しは吐き出した方がいいかと思ってね

……
…どうか聞かせてくれ
〃姉さん〃は僕より9歳年上で
美人で気立てもよくて僕にとっては最高の女性だった
うちは正真正銘の庶民でね
でも 父さんは帝都庁で重要なポストを任せられて頭角を現していったんだ
母は僕が小さい頃にはもう亡くなっていて……でも 近くに住んでた〃姉さん〃が男所帯を世話してくれた
父さんも姉さんの事をすごく可愛がっていて…僕にとっては自慢の〃姉〃で憧れの存在だった
随分モテていたけどしっかりとしていた人だったから僕もちょっと安心だったんだ
──〃彼〃が現れるまでは
〃彼〃は帝都庁に勤める父さんの部下にあたる貴族の青年で
伯爵家の跡継ぎという正真正銘のサラブレッドだった
そんな彼が父に紹介される形で姉さんと知り合って…
ただ貴族にありがちな傲慢さや尊大さは欠片もなくて誠実そのものといった人柄だった
ふたりはお互い惹かれ合って身分を越えた恋人同士になった
正直 子供心に悔しかったけど僕の目から見てもふたりは本当にお似合いで…
父さんが仲人に立つ形でふたりは婚約して
それが──終わりの始まりだった
相手の実家 伯爵家が露骨に潰しにかかってきたんだ
どうやら《四大名門》の一つカイエン公爵家との縁談が急に持ち上がったらしく平民の娘を娶るなどとんでもないと騒ぎ始めたんだ
ありとあらゆる嫌がらせや脅しが姉さんに対して密かに加えられた
愛する人を困らせたくなかったのか父の立場を慮ったのか…
姉さんは結局一言も相談せずただひたすらに耐え続けた挙句──
──自らの命を絶った

僕たち父子が経緯を知ったのは全てが終わった後だった
どうやら〝彼〟は最後の最後で姉さんを手酷く裏切ったらしい
わ私は彼女に言ったんだ！
〝愛妾〟として大切にするからどうか我慢してくれと！
なのにどうして命を絶つ!?
その後…父さんはそれまで以上に実績を上げた
そして 盟友であるオズボーン宰相と協力する形で帝都庁の貴族派を押し退けて…
4年前に帝都庁長官――つまり帝都知事に任命された
これがレーグニッツ家の事情さ
そ…そんなことが…

僕は……姉さんを死なせた〝敵〟を求めずにはいられなかった
だから〝貴族〟が嫌いになったの…？
相手の男だけでなく貴族の全て…貴族の文化や制度すら敵と思った
そして…彼らに勝てるだけの力を必死になって追い求めてきたんだ
――だけど頭のどこかでとっくにわかってはいたんだ
結局それはただの〝八つ当たり〟だったんじゃないかって
貴族や平民に関係なく結局は〝その人〟なんだろう
相手の男は誠実ではあったが愛する人を守りきれるほど強くはなかっただけだろうし…
伯爵家も〝自分たちの利益〟をただ優先しただけなんだと思う
平民だろうが悪人は悪人だし貴族にも尊敬できる人間はいる
ユーシスのヤツはともかく……

リィン
ラウラ――
君たちには
それを教えられて
きたからな
マキアス…
そうか…
ありがとう
話してくれて
うーん でも
マキアスも素直じゃ
ないよねぇ
ここまで来たら
ユーシスだって
ちゃんと認めて
あげればいいのに
じょ冗談じゃない！
あの尊大で傲慢な
ヤツを断じて
認められるものかっ！
でもユーシスって
ある意味
天然っていうか
悪気はない
というか
THE ナチュラル 高慢
ええい
それが一番
腹が立つんじゃ
ないかッ!!
やれやれ
ふふ…
もぐ もぐ
そろそろ
昼も終わりだな
PRRR…
ピッ
はい…あっ
サラ教官…？

聖アストライア女学院前
君たちⅦ組全員に
行ってほしい
場所があってね
実習課題が
片付いてからでいいから
《サンクト地区》に
行ってほしいのよ
そこにある
《聖アストライア女学院》
の前に夕方5時過ぎに
行ってちょうだい
……
エリゼちゃんは
ここに通っているんだったよね
そういえば
あのアルフィン殿下も
在学されている
そうだな
？
あるふぃん
殿下…？
ユーゲント皇帝陛下の
娘さんで
弟君のセドリック殿下と
双子なんだ
それと母君が
平民のお兄さんが
いて…
あら
リィンたち
早いわね
わい
わい
ふむ
ふむ
アリサ！

《ヘイムダルの鐘》か…
荘厳な響きだな
そろそろ約束の時間だけど一体何が…
ガチャッ
お待たせしました
9名のお客様で…って兄様…!?
えっ…エリゼ…!?
ざわっ…
キィ
ざわざわ
ラウラ様…!? ラウラ様だわ…!
あの金髪の方はユーシス様!?
背の高い男性は異国の方なのかしら…
あちらの眼鏡の男性も理知的で素敵ですけど…
先頭にいる黒髪の方は平民の方なのかしら…?
凛々しくって素敵ですわね…
むう

なっ なあエリゼ… 俺たちをここに呼んだのは一体…
キィ
こちらです
スッ
姫様
お客様をお連れしました
え゛っ!?
ようこそ―― トールズ士官学院《Ⅶ組》の皆さん
わたくしはアルフィン
アルフィン・ライゼ・アルノールと申します
どうかよろしくお願いしますね?

〜〜〜〜っ!!??
もう…姫様！なんでお客様が兄様たちだって黙ってらしたんです？
エリゼったら機嫌直して？ちょっとしたお茶目じゃない
もー
ポロロン♪
やあお待たせ
…だれ？
お揃いのようだね
フッ ここの音楽教師さ
…いや 穢れなき乙女の園に迷い込んだ愛の狩人と言ったほうがいいか
うーんロマン…♥
あだっ
え…
お…
お兄様 そのくらいで 皆さん引いてらっしゃいますわ♥
女学院 聖餐室
…お兄様!?
改めて…
オリヴァルト・ライゼ・アルノール――通称〃放蕩皇子〃さ
そして《トールズ士官学院》のお飾りの理事長でもある
よろしく頼むよ《Ⅶ組》の諸君
学院の理事長をされているのが皇族の方とは聞いていたのですが
しかも殿下が《Ⅶ組》の設立をお決めになったとは…
理事長職とは名ばかりではあったんだが一昨年のリベール旅行で心を入れ替えてね
……《リベールの異変》ですね
ああ あの危機における経験が帰国後の私の行動を決定付けた

そのうち一つが士官学院に〃新たな風〃を巻き起こす事だった
…すなわち我々特科クラス《Ⅶ組》ですか
……今となってはその意図も何となくわかります
《特別実習》という名目で各地に向かわせることの意味も
この帝国で起きている実情…貴族派と革新派の対立を知らしめ考えさせるのが狙いですか
無論それもある
だが私は君たちに現実に様々な《壁》が存在するのをまずは知ってもらいたかった
その二大勢力だけではない
帝都と地方伝統や宗教と技術革新帝国とそれ以外の国や自治洲までも…
この激動の時代において必ず現れる《壁》から目を背けず自ら考えて主体的に行動する――
そんな資質を若い世代に期待したいと思っているのだよ
！……

正直身に余る期待ですけど…
確かにこの《Ⅶ組》ならばそんな視野が持てるかもしれない…
そういった手応えが自分たちの中にあるのも確かです
フフそう言ってくれただけでも私としては本望だ
《Ⅶ組》の発起人は私だが既にその運用からは外れている
それでも一度君たちに会って今の話だけは伝えたいと思っていた
そこにアルフィンが今回の席を用意すると申し出てくれてね
お兄様のためというのもありますけどエリゼの大切なお兄さんに一度お会いしたかったのもありますわ
ひ姫様…！
私だけではないヴァンダイク学院長も君たちには期待している
君たちが帝国が抱える様々な《壁》を乗り越える〃光〃となりえることを
《壁》を乗り越える〃光〃――

フフ……だがそれも我々の勝手な思惑さ
君たちは君たちであくまで士官学院の生徒として青春を謳歌すべきだろう
恋に 部活に 友情に……
甘酸っぱい青春なんかをね
キィ…
あの エリゼ…
おやすみなさい それでは――
ご足労いただき誠にありがとうございました
皆さん お気をつけてお帰りくださいませ
ええ ありがとう
案内感謝する
スタ スタ
……
はあ…
ど…どんまい…
でも エリゼちゃんの気持ちもわかるよ
ふふ まさか殿下からあんなお誘いをされるとはな
――わたくし
そこでリィンさんに
明日の夏至祭初日帝都庁主催の園遊会に出席するのですが…
ダンスのパートナーを務めていただきたいんですの
フッ あのままお受けすれば良かったじゃないか
じー
ん!?
いや あり得ないから! 友人の兄に興味をもたれただけだろう…!
瓢箪から駒ということも将来…
それだけでもないような…
にょ
にょ
よかったわね～ リィン
皇女殿下にあそこまで気に入ってもらえるなんて
わたくしもリィン兄様とお呼びしても…
だめですっ

皇族というには随分軽妙でいらっしゃったな
しかしさすがは皇族オーラはすごかったな…
あの方が俺たち《Ⅶ組》の生みの親か…
俺の兄ルーファスにレーグニッツ知事
そしてラインフォルトのイリーナ会長…
そういえば3人の理事について気になる話をされていたな
彼らの思惑 目的はオリヴァルト皇子でも判らない か…
サラ教官の経歴もちょっと驚きだったよね
《紫電のバレスタイン》…まさか最高ランクのA級遊撃士だったとは…
やれやれバレちゃったか～☆
あっ… サラ教官!
…にクレア大尉?
ミステリアスなお姉さんの魅力が少し減っちゃったわねぇ
いや そういう魅力は最初からなかったような…
サラ図々しすぎ
こんばんは皆さん
ふむ これはまた珍しい組み合わせだな?
ええ… 実は皆さんに協力していただきたいことがありまして
俺たちにですか…?
はい
夏至祭をテロリストの脅威から守るために
《Ⅶ組》の皆さんの手をお貸しいただきたいのです
夏至祭に迫るテロリストの脅威とは——!?

ヘイムダル中央駅 司令所
THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
原作：日本ファルコム（『英雄伝説 閃の軌跡』）
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々
第21話
テロリスト――
そういった名前で呼称せざるを得ないでしょう
目的も所属メンバーも規模と背景すらも不明…
名称すら確定していない組織です
ま まるで雲を掴むような話ですけど…
――ノルド高原において紛争を引き起こそうとした〝あの男〟ですね
《G》――〝ギデオン〟だったわね
そ それが明日の夏至祭初日に何か引き起こすと…？
帝都の夏至祭は3日間…盛り上がるのは初日くらいです
ノルドの事件から一ヶ月…彼らが次に何かをするならば明日である可能性が高いでしょう

ま あたしも 同感ね
その ギデオンって男が わざわざ名前を 明かした以上 本格的に活動を 開始するはずよ
それで私たちに テロ対策への 協力を…？
ええ 鉄道憲兵隊（T・M・P）も 帝都憲兵隊（H・M・P）も 協力しながら 警備体制を 敷いています
ですが帝都は広く 警備体制の穴が 存在する可能性は 否定できません
そこで 皆さんに
〝遊軍〟として 協力して いただければと
ま クロスベル方面で 人手不足ってのも あるでしょうしね～
――Ⅶ組A班 テロリスト対策に 協力させて いただきます
……
同じくB班 協力したいと 思います
……で 君たち どうかしら？
宿泊先ギルド 夜――
ガチャリ
いや～ 懐かしいわねぇ！
1年半くらい前まで だいたい週一で 来てたんだけどね ここ
フィオナさんは 元気かしら？
あ…！ そういえば 姉さんが ギルドには 知り合いがいるって 以前言ってたけど…
ふむ… サラ教官 なぜギルドは 帝都から撤退を？
ん――… 直接の原因は 帝都各地の支部が 爆破された事でね
当時対立していた―― 今もしてるけど とある連中に雇われた 猟兵団の仕業で……
頼りになる助っ人も 来てくれたから その猟兵団を叩き潰す ことはできたけど 帝国政府から目を 付けられちゃってねぇ
以来 露骨に圧力を かけられて大幅に 活動を制限されてるのよ
帝都にあった支部も ご覧の通り
再開の目処すら 立っていない 状況ね

……その もしかして
フフ 知事閣下は無関係よ
まぁ〝お友達〟は大いに関係あるけど
……帝国政府代表 ギリアス・オズボーン宰相
それと《帝国軍情報局》《鉄道憲兵隊》は兄弟みたいな組織と言えるわ
ま そんな感じで無職になったあたしをヴァンダイク学院長が拾ってくれたのよ
今でもギルドの手伝いはしてて その関係でこの子を連れてきたんだけどね♪
ギルドを襲った猟兵団というのは ……？
ああ《ジェスター猟兵団》っていう低ランクの猟兵団でこの子のいた所とは関係ないわよ
《猟兵王》に率いられた《西風の旅団》…《赤い星座》とは双璧だったわね
サラ ウザったい

あたしも現役の頃は相当苦労させられたもんだわ～
よく言う 色々邪魔したくせに
とんでもなく遠い世界の話のような……
あはは…
なんだか小説みたいだね…
いずれにせよ今日話に出たテロリストは《猟兵団》とは別物よ
猟兵団は基本的にミラと戦いそのものが目的…
だけどノルドに現れたその〝ギデオン〟という男…
何か深く暗い情念で動いているとしか思えない
深く暗い情念…
ま 協力すると決めたからには頑張りなさい♪
それじゃ あたしは先に空いてる部屋で休ませてもらうから♥
あ…
…サラ いつもよりも口数が多い気がした
ポン

うーん…元の職場に来て少しナーバスになったのかな…
キィ…
ガチャ
言われてみれば…
バタン
無理をしているということか…
ヘイムダル港 深夜——
コッ…
コッ
コッ
コッ
ザザッ
——時は至った
今こそ我らが鉄槌をもって緋き都の眠りを覚ます刻だ

同志《G》…全ての準備は完了している
だが肝心の貴方の手勢はあまりにも少ない
せめてあと数名くらい…
パサッ
なに——心配は無用だ
この〝笛〟さえあれば鉄道憲兵隊も恐るるに足りん
明日はとうとう〝我々〟の名前を世間に知らしめる時——
頼もしき同志たちよ力を尽くしてくれたまえ…!
おおっ…!

それじゃあ あたしはB班の 様子を確認してから 鉄道憲兵隊の 司令所に向かうわ
巡回中 何かあればあたしの ARCUSに連絡して ちょうだい
了解しました
――よし 俺たちも 担当する街区を 巡回していこう！
ああ！

ふぅ… 結構歩いたな
ふむ…… 街の人の話で 気になったのは
ホテルの路地裏で 帽子を深く被った 怪しいふたり組が 目撃されたのと
それと ヘイムダル港の 若い労働者が数人 昨日のうちに 辞めた…
急に何人も 辞めちゃうなんて なんだろうね…？
PRR…
ピッ
――サラよ 状況の報告を よろしく
……なるほど ちょっとキナ臭いわね

そろそろ皇族を乗せたリムジンが帝都各地の行事に参加するため《バルフレイム宮》を出発するわ
B班は皇太子方面を任せたからA班はアルフィン皇女を頼むわね
オリヴァルト殿下には凄腕の護衛がいるから
ー了解しましたマーテル公園に向かいます
ピッ
何か指示があったの?
ああ 皇女殿下のリムジンが無事マーテル公園に到着するか見届けるように との指示だ
クリスタルガーデンで行われる園遊会に出席されるんだったな
では大通りを経由してマーテル公園へと向かうか
ワァァァ

エリゼ…皇女殿下のお付きとして来ていたのか
ふふっ よっぽど姫様から信頼されてるんだね

皇女様
さすがの
オーラかも
うん さすが
皇族の象徴たる
〝紅〟の衣装が
お似合いだな
そういえば先日
パトリックのヤツが
園遊会に呼ばれていると
自慢してきてな…
ちょっと
羨ましくなって
きたぞ
むむ…
まぁリィンは直接
ダンスに誘われてた
けどね…
よし ここは
大丈夫だ
手早くランチを
取って各街区の
巡回を再開しよう
おなか
すいたかも
ぐぅ
ドライケルス広場
わい
わい
わい
あれ…?

トワ会長…?
アンゼリカ先輩に
クロウ先輩も…!
あ〜っ!
リィン君たちだ!
実習
お疲れさま☆
こんなところで
お会いするとは…
奇遇ですね
フッ
これも女神の
巡り会わせと
いうものだね
ラウラ君
フィー君
さわ
さわ
フフ…♡
よかったら
私と一緒に夏至祭を
回らないかい?
おいおい
実習中だぞ…

先輩方一緒に遊びに来られたんですか？
私はトワを導力バイクに乗せて来たところだ
お祭りはいいよね～
これでテロリストの心配がなければ言うことないんだろうけど…
!!
ど どうしてそれを――
サラ教官から何か聞いて…？
うん 実は君たちの実習に関してはわたしも少しお手伝いして…
それでちょっと心配になってアンちゃんと見に来たんだ
クロウ君とはさっき合流したばかりなんだけど…
…クロウ先輩なんだか元気ないですね
ぼーーー…
?
そうだったんですか…
そういえば《夏至賞》に行くとか言ってたなメインレースの結果は…？
ギッ
まさかあそこでブラックプリンスが来るなんて予想できるんだよ…
しかもランバーブリッツが2番手に差し込んでくるなんて大番狂わせもいいとこだぜ…？
ああ 4-5で当たりか
わざわざ懸賞ハガキを出した甲斐があったみたいだな
サラリ
はぁ～～っ!!?
しれっと特賞を当ててんじゃねーよっ!!
くそ わざわざ大聖堂に神頼みしに行ったのによ～…
バ バチあたりな…
もう！クロウ君てばそんなことばかりして！
フッ これも日頃の行いの差というものだろう
もうヤダ このオンナ…
はーーー…
……

カーン
あっ
3時の鐘だね
そろそろ各地の
行事も終わる
くらいの時間かな？
僕たちも
もうひと回りくらい
巡回すべきかも
しれないな
カーン
なんだなんだ
もう行っちまう
のかよ？
先輩たち
僕たちは
そろそろ…
ARCUSも
持って来てるから
何かあったら
連絡してね～
わっ!?
ドンッ
もう
どうしたの
リィ……
え…？
噴水の水が…
溢れてる…？
ふむ
何かの圧力が
高まっている
ような…
きゃあっ？
!?

ガラン
うわっ!
な…!? こ これって……
ザァァ
ざわ
ざわ
夏至祭の余興…?
いやー——
テロリストの仕掛け——!
アンちゃんクロウ君!みんなの避難誘導を手伝って!
ああ!
合点承知だぜ!
ば
会長俺たちも…!
ここはわたしたちに任せて!
君たちにしか出来ないことがきっとあるはずだよ!

俺たちにしか出来ないこと…
それって…
ハッ
マーテル公園…!
まさか…陽動か!?
★帝国に潜む闇 ついに姿を現す——!

マーテル公園 クリスタルガーデン
フフ……御機嫌よう知事閣下
招待されぬ身での訪問 どうか許していただきたい
クッ……君たちは…
THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
原作：日本ファルコム（『英雄伝説 閃の軌跡』）
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々
第22話
正直 貴方にはそこまでの恨みは無いのだが…
〝あの男〟に協力している時点で同罪と思っていただこう

やはりそれが狙いか…
殿下は関係ないだろう！ふたりを解放したまえ！
エリゼーーーッ!!
だだっ
兄様……!?
リィンさんたち…！
来てくれたのか…
父さん！大丈夫か…!?
トールズ士官学院…
ノルドでの仕込みに続いてまたもや現れたか
だが 今回ばかりは邪魔されるわけにはいかん…！
ピイイイイイ
ガサガサ！

魔獣を…
操っているのか!?
ジリ
グルル…
フフ…
ま…待て!!
急げ！
追いかけるぞ！

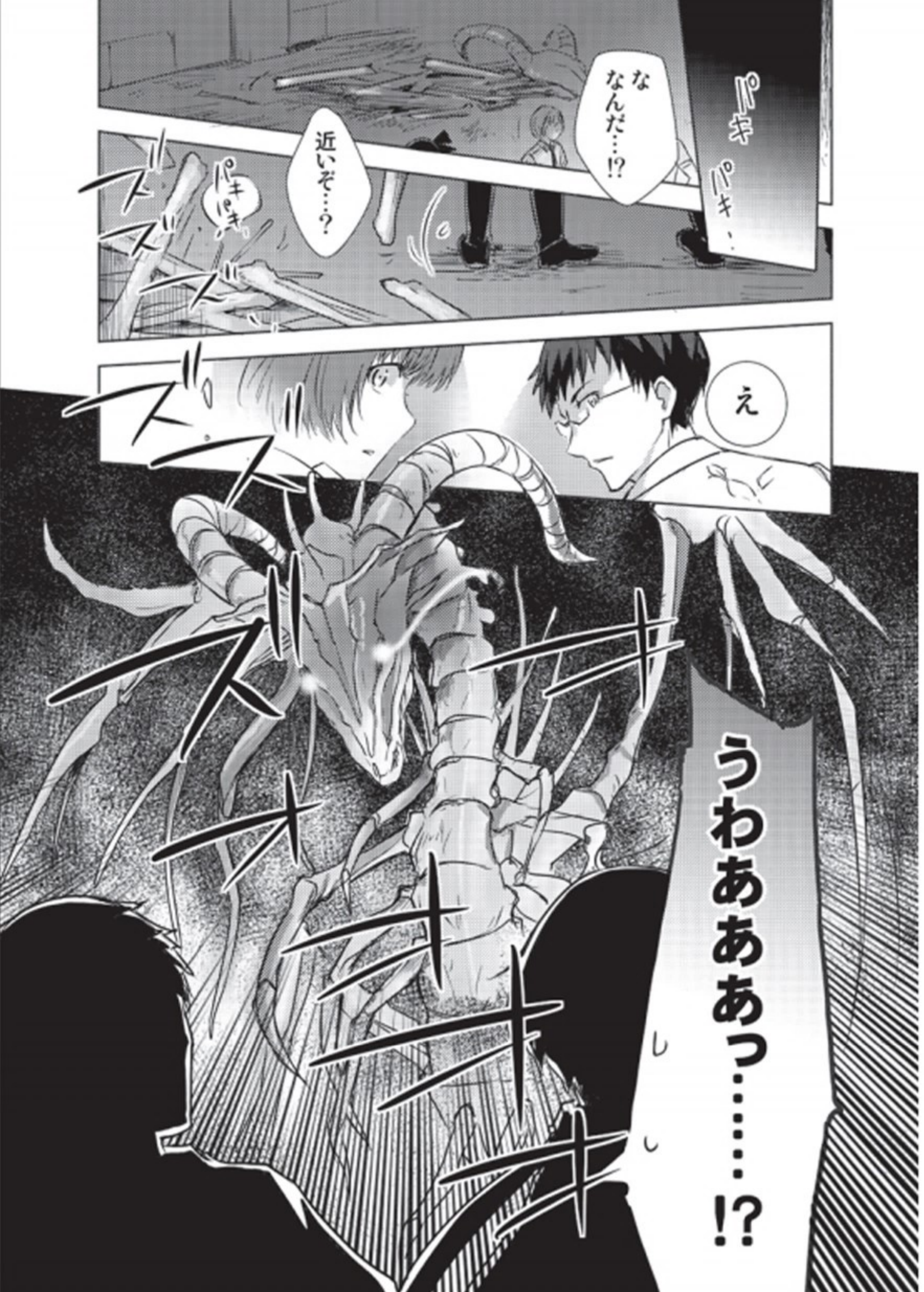
ばっ
父さん…！
私はかすり傷だ…
問題ない
それよりお前も
殿下たちを…！
僕も助太刀
させてもらうぞ！
ま
待ちたまえ！
パトリック…！
いや あんたには
できればここを
守って欲しい
だ だが…
パトリック
君の腕だったら
安心だ
くっ…
引き受ければ
いいんだろう！
決まりだね
ここの人たちを…
父さんを頼む…！
……っ！

カッ！
カッ！
なんだ
ここは…？
帝都の地下に
こんな
場所が…？
暗黒時代の遺跡…
地下墓所（カタコンベ）か
…ん
足跡が
ある
よし
このまま進…
うわぁ！？
ま
魔獣か…！？

だだっ
フッ… ここまでは概ね作戦通りだ
無事 ここを抜けられれば全ての目的を達せられるだろう
ああ…!
わたくしたちを攫ってどうするつもりなのですか?
お父様に身代金を――という訳でもなさそうですね?
皇女殿下におかれましてはしばしのご辛抱を…
我々はエレボニアの伝統と秩序を重んじる憂国の士
その象徴たる血筋に仇なすことはあり得ません
その物言い…
フフ 別に貴族に親近感を持っているわけではありません
私を始め我々の同志のほとんどが平民出身ですゆえ
ですが〝あの男〟の存在だけは許すわけにはいかない…!
ぎゅ、
〝あの男〟…
いずれにせよそういう事なら殿下は解放してください
私はエリゼ・シュバルツァー
北部ユミルの領主テオ・シュバルツァーの娘です
末席ながら貴族の身
傷付けられる虜囚ならば私だけでも十分でしょう
エ エリゼ…!
ほう…
なかなか見どころのあるお嬢さんだ

思わぬ駒が手に入ったがさてさてどうしたものか――
――そこまでだ!!
ザッ ザッ‥
なにっ…!?
うあっ!?
兄様…!
こ こいつら…!
み 皆さん…!
殿下とエリゼを解放してもらおうか
…フン ここまで来れるとはな 魔獣共を待ち伏せさせてやったのに…
…やはり〝笛〟の力か
古代遺物(アーティファクト)だったか…不思議な力を持つ大昔の遺物がこの世にはあるらしいが…
くっ…
5対3 勝ち目はないよ
フフ…恐れいった
《トールズ士官学院》……
まさかここまでの逸材たちを育てていたとは
言っておくが……
ふたりに傷一つでも付けたら一切の容赦はしないと思え
……わかった 降参だ
少なくとも我々に勝ち目が無いことだけは認めよう

それじゃあ…!
大人しく解放するんだな?
ああ……
〃彼〃に勝てたらな
ス
しまっ……
んっ…
うっ…
!
睡眠薬…?
気絶させただけさ
フッ
うら若き乙女に見せるのは少々躊躇われるからな


パキ
パキ…
な
なんだ…!?
近いぞ…?
パキパキ
え
うわあああっ……!?

ななな…!?
骨の…
竜…!?
ハハハハ!
さあ 今度こそ死出の旅路へと向かいたまえ…!!
これぞ《降魔の笛》の力…! 暗黒時代の帝都の"魔"すらも従わせる古代遺物(アーティファクト)だ…!
ど どうするの……!?
敵戦力不明… 動きが読めない…
──みんな!
気合を入れるぞ!
今回の実習で俺たちが得たものを考えたら
勝てない相手じゃない!!
!
その通りだ…!
クッ…… 悪あがきを!
行くがいい 暗黒時代の魔物よ!
ディフェクター!!
地裂斬!!

度重なる卑劣な行為…これで終わらせる!!
マキシマムショット!!

なっ…
馬鹿な…
!

ぐあっ…!?
《降魔の笛》が…!!
カラン
ジャキ!
これでチェックメイトだな
ぐっ……

チャキ!
ゾ…
同志《G》どうすれば…
……
……!
貴様…!
同志《G》…!
既に死は覚悟の身 いつ果てても文句はない…
だが今回の作戦だけは屍すら残すわけにはいかん
かくなる上は畏れながら玉体を傷付けても――
――フフ このあたりが潮時でしょうね

!
たんっ
あらあら
すばしっこい子猫ちゃんね
フフ
あたし好みだわ♥
ぬっ
クク…さすがは《西風の妖精(シルフィード)》か

あ…新手…!?
同志《S》…
それに同志《V》…!
来てくれたのか…!
やれやれ 今回は任せてもらうと言っていたはず…
だが 正直助かったぞ
悪ィな《G》の旦那
だがここでアンタが捕まったらさすがに幸先が悪いからな
フフ 無粋とは思ったけどお邪魔させてもらったわ

THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
第23話
原作：日本ファルコム『英雄伝説 閃の軌跡』
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々
同志《C》…まさか君まで来るとはな
私の立てた今回の作戦それほど頼りなく見えたか？
いや ほぼ完璧に見えた
しかし作戦というものは常に不確定の要素が入り込む
そこの《Ⅶ組》の諸君のようにな
くっ…
僕たちの事まで…？
本作戦の主目的は既に達した
この上皇族を傷付ける不名誉を負う必要はない…そうではないか？
…その通りだ
返してやりたまえ
了解

同志《C》と一緒にね
ーそういう事だ
!?
カッ
カッ
ま…また新手…？
仮面…？
カッ
カッ
な……
何者だ…!?
★ついに表舞台に立つ謎の男たち…彼らの狙いとは!?

ス…
!
フフ…
エリオット
マキアス
…2人を頼む
ああ…!
さて これにて
双方が歩み寄れた
と思うのだが
異存は無いかな
VII組の諸君?

スラ
恐れ多くも
殿下たちを攫い
薬などで
眠らせたこと…
……
あるに
決まっている
だろう
とても
帝国人として
許せるもの
じゃないいな…
チャキ
5対6…
ちょっと
厳しいかな
み
みんな…
クク なかなか
骨のあるガキども
じゃねえか
うふふ
せっかくだから
相手をしてあげても
いいのだけど…
まあ ここは
私が出るのが筋
というものだろう

刀使いに大剣使い…
それと双銃剣の
使い手か
来い──
相手をして
やろう
《C》…!!
なっ…
独りでか…?
……!?
フフ
ただの余興だ
鉄道憲兵隊が
来るまでの一時
その怒りをぶつけて
みるがいい
あの男
本気か…!?
あの3人相手に
勝てるとは
思えないけど…

フフ…
あれは…?
暗黒時代の遺物
双刃剣(ダブルセイバー)か…!?
──我が名は《C》
それだけ覚えて
おくがいい
士官学院《Ⅶ組》の力──
見せてもらおうか!

はぁっ!!
!!
ラウラ！フィー!!
ヒュッ
ピタッ
――え
――フッ
クリミナルエッジ!!
!!
ぐっ…!!
リィン！
みんな…！

フン…
ハハ さすがは《C》！
〝私たち〟のリーダーを務めてるだけはあるわね♪
くっ…ここまでの使い手とは…
サラに匹敵するかも…
お前は…
お前たちは一体…？
《帝国解放戦線》――
本日よりそう名乗らせてもらう
静かなる怒りの焔をたたえ度し難き独裁者に鉄槌を下す…
まあ そういった集団だ

《帝国解放戦線》…？
ど 独裁者って…
――そこまでです！
サラ教官！
クレア大尉…！
スッ
フッ…どうやら時間のようだな
それでは諸君
――また会おう
なっ…
……!?

ば 爆弾が仕掛けてあったのか…!?
ゴゴゴゴゴ
ガラ
ガラ
フン…あばよ
それじゃあね♥可愛い仔犬ちゃんたち
崩れるわ！早くこっちへ！
はい！
だっ
ドドドォォ…!

ま 間に合ったか……
ふ～まったくヒヤヒヤさせてくれるわね
でも全員無事でよかったわ
お おかげさまで…
はあ…さすがに死ぬかと思いましたよ…
というかサラ来るの遅すぎ
ゴメンゴメン
ええ…
…ってこりゃあ追跡は無理っぽいわね
ん…
《帝国解放戦線》か…
わたくし…どうして…?
皇女殿下…!
大丈夫ですか殿下?ご気分は…

ジタバタ
リリィンさんっ!?
!!?
だ大丈夫ですっ!
それよりエリゼ…!
妹さんの心配を…!
情報局の解析通りでしたね
幾つかのルートは押さえていますが網にかかるでしょうか
…難しいでしょう帝都地下は未知の区画が多すぎます
ある程度で捜索を切り上げて市内の治安回復に専念してください
イエス・マム
パチン
ようやく姿を現しましたね
《帝国解放戦線》ー
こうして……

鉄道憲兵隊の主導によって夏至祭初日の混乱は収まった
手傷を負いながらも陣頭指揮を取ったレーグニッツ帝都知事の働きにより3日に渡る夏至祭も無事終了し…
翌朝 俺たちⅦ組のメンバーは揃って帝都を後にすることになった
バルフレイム宮 第二迎賓口
いや 君たちには本当に世話になってしまった
兄妹共々 士官学院に足を向けて眠れなくなってしまったくらいいさ
いえ そんな…!

いいえ わたくしとエリゼなど あのまま連れ去られて いたらどんな運命が 待ち受けていたか…
何度お礼を言っても 足りないくらいの 気分です
私とセドリックの方も B班の働きには 助けられたよ …改めて礼を 言わせてもらう
ふふっ… お役に立てて 光栄です
《Ⅶ組》設立の お礼を やっとお返しできた みたいですね
それにしても… 《帝国解放戦線》 ですか
今回ついに その名前を 明らかにした
仮面の男 《C》をリーダーと する数名の幹部たちに 率いられた純然たる 恐怖主義者(テロリスト)たち……
ああ…
ノルド高原での一件 さらには帝国各地の 幾つかの事件
現在 情報局で メンバーの洗い出しを 行っている最中らしい

こう言っては 何ですが… 不思議な人たち でしたね
わたくし達を 連れ去りながら 悪意をあまり見せる ことはなく…
…はい
それでいて 内に秘めた激情に 取り憑かれている かのようでした
そんな感じは したかも
『静かなる怒りの 焔をたたえ 度し難き独裁者に 鉄槌を下す……』
彼らのリーダーの 言葉です
フン…また 露骨な言葉だな
『静かなる怒りの焔』に 『度し難き独裁者』…
まぁ 何を 示しているのかは 明らかではあるが…
皆さん…!
こ 皇太子殿下…!

初めまして 皆さん
セドリック・ライゼ・アルノールです
この度は姉の危機を救っていただき本当にありがとうございました
……勿体ないお言葉
ありがとうございます殿下
皇太子…想像してたより可愛いかも
こ こら フィー!
ふふっ 皆さんのように逞しくなってくれればわたくしも安心なのですけど
ちょ ちょっとアルフィン…
かなり変則的ではあったが 無事 今回の特別実習も終了した
士官学院の理事としてまずはお疲れ様と言っておこうか

《Ⅶ組》の運用 そして立場の異なる3人の理事 色々思うところはあるだろうが…
君たちには君たちにしかできない学生生活を送って欲しいと思っている
それについては他の2人も同じだろう
父さん…
!……
……そう言っていただけると
カッ
その点に関しては殿下もどうかご安心ください
はは…わかった
元より貴方については私も信頼しているつもりだ

だが…
――どうやらお揃いのようですな
コッ
コッ
あ…
まさか…
コッ
！……
オズボーン宰相！
実は先ほどまで共に陛下への拝謁を賜っておりまして

アルフィン殿下におかれましてはご無事で何よりでした
これも女神の導きでありましょう
ありがとうございます宰相
オリヴァルト殿下も――
《帝国解放戦線》に関しては既に全土に手配を出しております
…やれやれ手回しのいい事だ
これは来月の《通商会議》も安心ということかな？
背景の洗い出しも進んでおりますのでどうかご安心ください

――これは失礼 諸君への挨拶が まだだったな
帝国政府代表 ギリアス・オズボーンだ
《鉄血宰相》という 名前のほうが通りが いいだろうがね
あ…
は 初めまして 閣下
そ その… お噂は かねがね
フフ 私も君たちの 噂は少しばかり 耳にしている
帝国全土を 股にかけての 特別実習 非常に興味深い 試みだ

これからも 頑張ると いいだろう
…ども
精進させて いただきます
それと…
久しいな 遊撃士
転職した そうだが 息災そうで 何よりだ
ええ おかげさまで
その節は ほんっとーに お世話に なりました
フフ…
カツ
諸君らも どうか健やかに 強き絆を育み
鋼の意志と 肉体を養って ほしい

──これからの
〝激動の時代〟に備えてな
激動の…
時代…
兄様…？
なんだ…？
この感覚は…？
っ……
!?
《帝国解放戦線》に《鉄血宰相》──揃い踏みの帝国の行方は……？

THE LEGEND OF HEROES
閃の軌跡
第24話
原作：日本ファルコム『英雄伝説 閃の軌跡』
脚本：恵村まお
漫画：さがら梨々
──8月中旬
帝都から帰還した俺たちは
5日ほどの短い夏季休暇を終えて授業や訓練を再開していた
ぐで～
はぁ…
毎日暑いね～
正直だるい
そうね～せめて導力エアコンがあれば少しは快適なんだけど…
そういえば3人共 故郷に帰らないんだね
貴族生徒は帰省が認められてるんでしょ？
ああ クラス全体が休みになるならともかく…
妹とも会ったばかりだし今年の夏は止めておいたんだ
元より修行中の身
自分なりの手応えが得られるまで中途半端に帰るつもりはないな

フン…わざわざ居心地の悪い実家に帰る阿呆がいるか
この暑さを我慢した方が千倍マシというものだ
そ そんなに…
《西ゼムリア通商会議》…
IBC（クロスベル国際銀行）総裁も務めるディーター・クロイス市長の提案により開催される国際会議ね
まあ暑さに関係なく色々慌ただしくなっているしな
関係者にとったら暑さどころじゃないだろう
帝国からは皇帝陛下の名代としてオリヴァルト殿下とオズボーン宰相が出席されるんでしたよね
《鉄血宰相》ギリアス・オズボーンか
何というか…とんでもない存在感だったな
何でも呑み込めそうな"怪物"って感じ
軍部出身の政治家で12年前 皇帝に信任されて宰相となった人物…
帝国正規軍の7割を掌握すると聞く
帝都を中心に全土に鉄道網を整備した人物としても有名ですよね

それと 周辺にあるいくつかの小国や自治州を併合したと…
あくまで平和的にみたいですが
フン どうだかな あの男が宰相となってからは軍事費が増大したのは間違いない
クロスベル方面の2門の《列車砲》を発注したのも元はといえばあの人なのよね…
それによって共和国との間で大規模な戦争が起きるところだったし
その時はリベールという国の提唱で戦争を回避できたと聞いたが……
確か《不戦条約》だったか
うーん 帝都じゃすごく人気がある人なんだけどなぁ
ぱた ぱた
実際にはあんな連中に思いっきり狙われてるみたいだし
だがその緊張は未だに尾を引いているらしい
今回の通商会議ではそのあたりが話されると思うが…

《帝国解放戦線》か…
ガチャ
おはよ 皆 遅れちゃって ゴメンね〜☆
さ HR 始めるわよ♪
サラ教官 10分も過ぎているようですが…
カッ カッ
まさか寝坊…
コラコラ 今日は違うわよ!
遅れたのにはワケがあってね ――それじゃ入ってきて
…え
あれっ…?
ハーイ☆
うーっス
2年のアームブラスト先輩…?
と…
え…?
あ…あ… 貴女は…!
…んじゃ俺から
――クロウ・アームブラストです
キリッ
今日から皆さんと同じ《Ⅶ組》に参加させてもらいます
ええっ!?
ハイハーイ☆
初めてのヒトもいるからあらためて自己紹介するねー!

ボクはミリアム！
ミリアム・オライオンだよ
でこっちがガーちゃん
正式名は《アガートラム》
なっ…!?
なんですアレはサラ教官!?
あーそのデッカイのは教室内で出すのは禁止ねー
…てなわけで
よろしくね！な！

……
えーー!!?
放課後 生徒会室――
はい
これがミリアムちゃんの生徒手帳
わかりましたミリアムに渡しておきます
その…トワ会長
彼女…どういう目的で編入したかご存知ありませんか？
うーん 軍の情報局からの推薦ってことくらいかなぁ

実技テストで使われている《戦術殻》もそうだけど…
うん 情報局と鉄道憲兵隊を設立したのは宰相さんだけど…
その時 陛下から異例とも言えるお墨付きをもらったみたいなの
だから そこからの推薦となるとなかなか断れないみたい
皇帝陛下のお墨付きもあるから学院としては断れないみたいで
皇帝陛下の…!?
そうだったんですか…
それにしてもまさかクロウ先輩までⅦ組に入るとは…
あはは…わたしもビックリだよ
先輩が編入って…どういう事ですか?
いや～これには非常に深刻かつデリケートな事情があってだな…
それで特例として3か月ほど《Ⅶ組》に参加することになったわけ
はぁ～
よく言うわよ
コイツ 一年時の単位をサボっていくつか落としてててね
このままじゃ卒業できないって慌てて泣きついてきたのよ
なんだそれは…
思いっきりどうしようもない理由じゃないですか…

知ってるかもしれないけど去年ARCUSの試験導入に参加した実績もあるからね
その点に関しては君たちのいい見本になるかと判断したの
にぱっ
ま 同じクラスになったからには先輩後輩抜きで行くとしようぜ☆
クロウ君は必須の課題とか出席日数が足りてないらしくて…
その代わりⅦ組のカリキュラムに参加すればいいことになったみたい
はぁ～…そこまで単位が揃ってなかったなんて…友達失格かも……
つっ
そ そこまで気にしなくても
でもミリアムと一緒にクロウ先輩が入ってきたこと…完全に無関係じゃないですよね?
うん そうだね
クロウ君なら君たちのサポートにもなるって学院長たちが判断したみたい
クロウ君 成績はともかく実行力とかすごく評価されてるし
去年の学院祭なんていっぱいイベントを企画してすっごく活躍したんだよ?
へぇ…

先輩ということで戸惑っちゃうかもしれないけど…
どうか仲良くしてあげてね
——もちろんミリアムちゃんとも
——3日が過ぎた
クロウ・アームブラスト先輩と情報局に所属する謎の少女ミリアム
ガーちゃん!
異色すぎる新メンバーたちは呆気なく《Ⅶ組》に馴染んでいった

ワイワイ
ん…?あれは2年生…?
なんで第三学生寮に?
じゃあな元気でやれよ!
追い出されるような真似すんじゃねーぞクロウ!
おう!皆ありがとなー!
クロウ先輩…?なぜここに?

え!?
第三学生寮に越してきた!?
ああ リィンの向かいの部屋らしいな
おかえりー
よろしく頼むぜ
なんかもう馴染んでるし…
いやー それにしても大変だったぜ~
前の部屋は私物置き場にするつもりだったんだがトワがうるさくてよー
当たり前だと思いますけど…
では今のは引っ越しの手伝いということか
ああ 結局第二学生寮全員来てくれたな
随分交友関係が広いんだな…
そんなに…
それじゃあ…改めてよろしくお願いしますクロウ先輩
おう! よろしくな
っと もう同じクラスなんだから先輩もいらないしタメ口でいいぜ?
そ そうですか? うーん…
フン まぁお言葉に甘えさせてもらうか
ハハ 坊やは最初からあんまり気にしてない気がするけどなあ
坊やは止めてもらおう…
そうだ 明日の旧校舎調査 俺も付き合うから呼んでくれよな!
なにそれ! ボクも行くー!
に…賑やかになりそうだな…
旧校舎調査も今月でもう第5層か
いったいどこまで地下が続くのでしょうね
それにしてもミリアムのアガートラムだったか…
話には聞いていたがとんでもない強さだったな

ふむ…今回は特に変わったことは起きなかったな
そういえばあの巨大な甲冑
回収したジョルジュのヤツが先月から嬉々として調べてたんだが…
何やらよくわからない技術が使われてるらしくて どうして動いてたのかわからないんだとよ
？
ふーん…？なんだかガーちゃんみたいだね
ボクもガーちゃんがどうやって動くのかジツはよくわかんないし
なっ…そうなのか!?
今月も何も起きなかったが…
俺はいつかあの力を克服できるんだろうか…
サァァ
おっと夕立みたいだな
あ…じゃあ俺は学院長に報告してきます
ああすまないなリィン
ここがオジサンが言ってた場所かぁ
サァァ
確かに何かありそうだけど…
でも力ずくじゃあ難しそうかな…？
夜 第三学生寮
しかし驚いたな
ミリアムはわかるがクロウ先輩までこの学生寮に引っ越してくるとはな
夕食は歓迎会としてシャロンさんがより腕を奮うそうだ
リィンは親しいみたいだけどどういう人なの？
親しいって程じゃないけど…まああえて評するなら
いい加減でギャンブル好きで
気まぐれなお調子者って感じかな
ダメだろうそれは…
フン あまり関わり合いになりたくないタイプだな
い いや! いざとなったら頼りになるのは確かだと思う!
俺が旧校舎地下で危なかった時も助太刀してくれたし…
ARCUSも含めてかなりの腕前だったのは確かだ

ふむ…
ミリアムのことはどう思う？
悪い子じゃないと思う
昨日 中庭で昼寝してたら一緒に寝転がってきた
それ良い子悪い子は関係なくないか…
13歳だったか… 無邪気なのも当然だろう
だが どんなに子供じみて見えても《帝国軍情報局》の一員…
《鉄血宰相》の指示で編入したのは間違いないだろう
〃友人〃として〃信用〃できるか まだわからないけど…
〃仲間〃として〃信頼〃できるかは これから見極めていけばいいと思う
ふむ… 彼女の〃背景〃がどうであろうと共に肩を並べ心を合わせられるか
うん それは重要だな
そうね… 私たちの方も壁は作らないようにしないと

ガチャッ
シャロンさん 今から外に？
ええ 少し食材の買い足しに…
ああ それでしたら代わりに俺が行ってきましょうか？
ありがとうございました～
だいぶ暗くなっちゃったな 早いところ戻らないと…
あら？ あなたは…
もしかして 士官学院《Ⅶ組》の生徒さんじゃない？
え…？ ええ まぁ…

あれ どうして 俺が《Ⅶ組》だって…
ふふっ 君たちのことは ウチの局でも 噂になってるわよ
ニコッ
深紅の制服―― 士官学院で 新たに設立された クラスだって
局…
ああ ラジオ局の 方でしたか
…ってあれ？
なんだか あなたの声に 聞き覚えの あるような…
わっ！ もしかして 聞いてくれてる のかしら！
――コホン
ラジオを お聞きの皆さん こんばんは
随分暑くなってきましたが いかがお過ごしですか？
今夜はここ トリスタにある 公園前から お送りしています
――ふふ
なんちゃって

ラジオを お聞きの皆さん こんばんは…
♪
え……
えええええっ!?
《アーベントタイム》の ミスティさんですか!?
♪
ふふっ
声だけで気づくなんて どうやらかなり聞いて くれてるみたいね
お姉さん 嬉しいわ♪
いつも楽しく 聞かせて もらっています
ありがと♥
あれ…？
あの…
ひょっとして… 以前 お会いしたこと ありませんか？
――帝都の オペラハウスで
！

あはははっ…！
は～ 参っちゃったな まさか 気づかれる なんて
やっぱり…
ヴィータ・クロチルダさん ですよね？ 《蒼の歌姫》の…
あ～あ ラジオ局の みんなですら 気づいて いないのに
どうして トリスタの ラジオ局に…？
ふふ ちょっと 気晴らしにね
オペラハウスには 内緒で毎週 顔を 出しているのよ
みんなには ヒミツにして おいてね？
え ええ……
それは いいんですが 驚きました…
ふふ こっちも びっくりしたわ
ずいっ
ビクッ
っ……!?

どこかで 見かけた顔 だとは思って いたけど…
なるほど―― "君" だった わけね
え…？
それじゃ これから スタジオ入り だから
《アーベントタイム》 よかったら今夜も 聞いてね
あ…
は はい…
フワ
ふふっ…… ふたりに よろしく♪
花の香り…
これは… ラベンダーの 香水か

ヴィータ・クロチルダ……
ミスティさんか……
……
ふたりによろしく♪
ふたり…？何のことだ…？
ガチャ
あ お帰りなさい
お買い物ですか？
ただいま委員長
シャロンさんに頼まれてね
少し遅くなっちゃったけど…
……
あらラベンダーの香り…香水？
ああ…そうか匂いが移っちゃったんだな
えっともしかえして帰りが遅れてしまったのって……
ま待った…！違うぞ委員長!?
ちょっと知り合いに会っていたくらいで…！
別に何もやましいことはないんだからな!?
ふふ 私はまだ何も言っていませんけど
クスクス
アリサさんたちにも話しちゃおうかしら…
ああもうからかってるだろ委員長!?
俺シャロンさん待たせてるから！
じゃっ
パタパタ
ラベンダーの香り…
まさかね…
ルナリア自然公園
――揃っているようだな
ザザザ
来たわねリーダー

同志たちよ
よくぞ集まった
既に我らは走り出し
止まることも
顧みることもない
求めるのは
〝結果〟のみだ
異議ナシね
言わずもがな
だぜ
その上で
あえて聞こう
・・・本当にいいのだな？
——同志《G》
まさかアンタがクロスペル行きを志願するたぁな
《赤い星座》のことを考えると俺が行った方が良かっただろうに
いや——私は《笛》を失った
クロスペルでの作戦が捨石となる可能性を考えた
私が行くのが合理的なはずだ
我らの目的を達成するためにもな

あんた…
…まったく生真面目すぎるでしょう
——私の思想と理念は《解放戦線》に息づいている
フッ…君たちも似たようなものだろう
ならば たとえクロスペルでこの身が果てようとも構わない
あの男がもたらすであろう恐るべき反理想社会（ディストピア）の到来…
誰かが食い止められれば我らの勝利となるのだから…！
……わかった
女神の——
いや
悪魔の加護を

事が成ったら
4人で祝杯を
上げるとしよう
願わくば帝都
ヘイムダルでな
ああ…!
さらばだ——
同志たちよ
★動き出す運命の前夜　新たな仲間とのひと時は穏やかに…!